

参加費無料

日本創造学会 第34回研究大会

今問われる日本の技術革新への挑戦 『現状突破力』の実践を

開催日：10月20日・21日 会場：金沢星稷大学 大会実行委員長 櫻井敬三
大会副実行委員長 高田敬輔

記念講演会とパネルディスカッション

創造性は文化、産業などで必要なあらゆる知的活動の原点です。日本創造学会は30余年前に設立され、我が国の創造性の研究と普及に努めてまいりました。今年は文化・学術都市金沢で研究大会を開催し、「現状突破力」をサブテーマとして「研究発表会(有料)」と「記念講演会・パネルディスカッション(参加費無料)」を開催します。創造性によって育まれる「ものづくり、ひとづくり」をご一緒に考えたく、沢山のご参加をお待ち申し上げます。



基調講演

森政弘

日本創造学会名誉会員
東京工業大学名誉教授
10/20 13:45~

講演テーマ：ロボコンでの物作りの意義

1950年：名古屋大学工学部電気学科卒
1969年：東京工業大学教授
1962年頃よりロボットの研究を開始し、我が国のロボット工学の立ち上げに貢献。ロボットコンテスト創始者。
ロボコンが創始されてから、今年は25年目になる。その間に感じた、ロボット作りという物作りが人間に及ぼした影響について、創造性育成と人作りとの二つ視点から述べる。



特別講演

浅野邦子

㈱箔一代表取締役会長
10/20 15:00~

講演テーマ：金沢箔に新たな価値を込めて
～固定概念を打破する商品づくりとグッドカンパニーの育て方～

京都市生まれ。1975年、㈱箔一を創業。当時「金沢箔」を使った商品を提案、ブランド化し「金沢箔工芸品」という新分野を築く。これにより、金沢の地場産業として一翼を担う伝統工芸へと発展させた。
また、常に新しい技術開発や逆転の発想による商品開発につとめ、伝統と革新を融合させた様々な商品を提案。箔の美しさを世界に発信している。

●創造性現場『金沢工業大学夢考房』見学会 10/20 (10:00) 会員先着25名

●パネルディスカッション『ロボコンが培う創造性と実践力』10/21 (10:00) 詳細裏面

10/20 (土)プログラム

時間	プログラム
10:00	金沢工大『夢考房』見学会
10:30~12:00	希望者 金沢駅西口集合(要申込) 先着25名(大会会場送迎付き)
12:30~13:20	合同役員会
12:30~	参加者受付 昼食(希望者弁当)
13:30~13:40	開会挨拶 理事長 徐方啓
13:45~14:45	基調講演 『ロボコンでの物作りの意義』 森 政弘 東工大名誉教授
15:00~16:30	特別講演 『金沢箔に新たな価値を込めて』 浅野邦子 箔一代表取締役会長
16:45~17:30	総会 学会賞表彰式
18:00~20:00	懇親会(加賀会席 於：兼六荘) (大学からバスにて移動)

10/21(日)プログラム

時間	プログラム
6:00~7:30	兼六園、金沢城散策 希望者 兼六荘ロビー集合(申込不要) (自由参加、費用無料 櫻井ガイド)
8:45~	受付開始
9:00~10:00	研究発表 (発表20分+質疑10分) 3会場で行う予定
10:00~12:00	パネルディスカッション 『ロボコンが培う創造性と実践力』 昼食(希望者弁当)
12:00~13:00	昼食(希望者弁当)
13:00~16:00	研究発表(発表20分+質疑10分) 3会場で行う予定

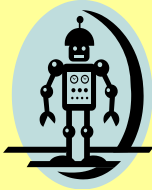
主催：日本創造学会

協賛：(50音順)
日本経営工学会
日本ロボット学会
後援：(50音順)
(財)石川県産業創出支援機構
金沢工業大学
金沢星稷大学
金沢大学先端科学イノベーション推進機構
全国高等専門学校連合会
中日新聞北陸本社
北陸先端科学技術大学院大学
北國新聞社

問い合わせ：日本創造学会事務局

参加申込方法：裏面の申込欄の事項を事務局までメールまたはFAXで送付下さい。Fax: 047-314-6380 e-mail: jcs@soken-ri.co.jp

参加費無料



第34回 日本創造学会研究大会 パネルディスカッション 「ロボコンが培う創造性と実践力」

ロボット技術は機械、電気、電子(エレクトロニクス)、情報(ソフトウェア、画像)、計測(センサ)、制御など総合的技術であり、技術人材育成には格好の教材と言えます。

ロボコン(ロボットコンテスト)のうち、とくにNHKが主催する高専ロボコンや大学ロボコンは、

①毎年、課題が変わる ②学生中心のチーム活動 ③技術の継承 などの特徴を持っています。

本パネルディスカッションでは「①25年の伝統ある高専ロボコンが毎年新しいルールでどのように実施され、各チームが活動しているか。②その中で創造性、プロジェクト管理力、チーム力、技術継承などがどのように醸成されていくか」について、ロボコン当事者、指導者、経験者から発表いただき、「ものづくり、ひとづくり」における「現場突破力」についてご一緒に考えてみたいと思います。

広く創造性、ものづくり、技術人材教育等に関心をもつ沢山の方々の参加を期待しております。

日 時: 2012年10月21日(日)午前10時～12時

場 所: 石川県 金沢星稷大学(金沢市御所町、JR金沢駅からバス20分)

参加費: 無料

プログラム

1) 主旨説明	モデレータ 高田敬輔(大会副実行委員長)
2) パネリスト発表	<ul style="list-style-type: none">* 福島高専 特命教授 佐東信司 (高専ロボコン競技委員) 高専ロボコンは25周年、これまでの経緯、実施方法、競技課題、各高専の取り組み方等について紹介する。また、ロボコンに取り組む学生と指導教員へのアンケート結果に基づいて、ロボコン参加学生に対する教育効果(専門知識の向上、モノづくり知識の向上、技術力、問題解決力等)について紹介し、今後のロボコンの展望について述べる。* 石川高専 准教授 堀純也 1年間のチーム活動(テーマ提示されてから、制作、競技大会出場まで)、チーム作り、知識習得、後輩への指導、技術の継承などの指導事例を紹介* 浜松ホトニクス(株)中央研究所 本間秀 (金沢工大・ロボコンチーム出身) 学生時代ロボコンチーム(09年NHK大学ロボコン優勝)の活動、そこで得た技術、能力は何か、実社会の技術者としてどのように役立ったかを報告* 金沢高専 教授 天日三知夫 (創造技術教育研究所長) 高専における創造性設計教育とはどんな内容か、またその教育上の狙いについて、ロボコン等のクラブ活動と対比しながら現状と展望を紹介
3) 全体討議、質疑応答	パネリスト間、およびフロアー参加者による質疑応答と意見交換から、今後の創造性、実践力の強化施策を探る。

(森政弘先生にもコメンテータとして参加いただく予定)

◇参加申込欄◇ 下記内容を FAXまたはメールでお申し込み下さい。

E-mail jcs@soken-ri.co.jp FAX 047-314-6380

問い合わせ: TEL090-8260-3617 (高田)

氏名	学校名・会社名	所属	E-mail	TEL番号
講演会(10/20) [参加・不参加] パネルディスカッション(10/20) [参加・不参加]				